

11月8日(水)、平塚市中小工業会環境委員会と合同で視察研修事業を行い9名が参加しました。東京都が、国の都市再生プロジェクトの一環で、先進的で信頼性の高い廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進める大田区城南島のスーパーエコタウン内に2005年(平成17年)竣工した株式会社リーテム東京工場に受入れをしていただきました。

1909年(明治42年)、初代が水戸に創業、再資源化事業を開始。約一世にわたり廃棄物処理に携わり時代ともに進化を続け、環境負荷低減に向けた技術開発・事業拡大に取組み、環境保全専門会社として蓄積した技術力・マネジメント力を駆使し、持続可能な社会の実現に向け事業展開している企業です。

マネジメント推進部の陶山氏に迎えられ、概略の説明を受けた後に、工場に運び込まれた使用済みの金属樹脂複合材や廃小型家電、作業中のクレーン車を眼下に見渡せるガラス張りの見学路に移動し、敷地面積5,293㎡、大量処理能力(1日で10tトラック100台分)を有するリサイクル工場の見学をしました。使用済みの金属樹脂複合材、電気電子機器類・情報通信機器類等、また小型家電リサイクル法施行以後は認定事業者として廃小型家電も受入れています。破碎前に手解体、手選別作業を行い、構成する複合材が何かを的確に把握した上で、それらに応じた適切な処理を実施し、機械選別工程では、大量処理能力(864t/日)を有する破碎設備により、高純度な原料回収を行い、水戸工場との連携で破碎処理品は全て素材産業の原料として出荷するため、ゼロミッション処理を達成しています。

小型電子機器類のリサイクル促進に伴い、2020年の東京オリンピックのメダルを使用済みの小型電子機器類で作るプロジェクトに注目が集まっています。

#### ●スーパーエコタウン

廃棄物が大量に発生する都心近くに立地していることによる近距離輸送やエコタウン内での相互補完の資源循環により、輸送と工程の面からCO<sub>2</sub>削減に貢献している。高いリサイクル率により、逼迫している最終処分場の延命や天然資源の保全に貢献している。

#### ○株式会社リーテム東京工場

会議室で陶山氏から概略説明を受ける会員



輸送車両の合間を縫って工場を背景にパチリ

